

教科名	国語科	履修学年	3年	学科	普通・フロンティア科
(科目名)	古典探究	単位数 (週当たりの授業時数)	3 単位		

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	○定期テスト・単元テスト ○小テスト	○定期テスト・単元テスト ○話し合い・討論・報告・発表 ○意見文・レポート・小論文	○ノートやレポート等の記述 ○自己評価や相互評価 ○授業の発言や行動の観察

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

<p>【教科書】「精選 古典探究」(第一学習社)</p> <p>【副教材】学ぶぞ古文と漢文 グランステップ古典</p> <p>【その他】学習プリント 古語辞典 漢和辞典</p>

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

<p>○小テストや副教材の演習等を通して、古典文法や漢文句形などの基礎的な知識の定着を図る。</p> <p>○グループでの話し合いやレポート作成などの言語活動を通して、思考力・表現力・判断力の育成を図る。</p> <p>○自己評価や相互評価を通して、自己調整力の向上を図る。</p>

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	○説話（二） 「叡実、路頭の病者を憐れむ事」	○単元テスト	○単元テスト	○ノートやレポート等の記述 ○自己評価や相互評価 ○授業の発言や行動の観察
	5月	○逸話 「不顧後患」（説苑）	○単元テスト	○レポート ○単元テスト	
	6月	○物語（四） 「夕顔の死」（源氏物語）	○小テスト ○定期（単元）テスト	○レポート ○定期（単元）テスト	
	7月	○諸家の文章 「医薬談笑」「賢母辞拾遺」	○定期（単元）テスト	○定期（単元）テスト	
2 学 期	8月				○ノートやレポート等の記述 ○自己評価や相互評価 ○授業の発言や行動の観察
	9月	○評論（一） 「深草の里」（無名抄）	○単元テスト	○単元テスト	
	10月	○史記の群像 「管鮑の交はり」	○単元テスト	○単元テスト	
	11月	○物語（五） 「菅原道真の左遷」（大鏡）	○定期（単元）テスト	○レポート ○定期（単元）テスト	
	12月	○問題演習 共通テスト過去問題演習			
3 学 期	1月	○問題演習 共通テスト過去問題演習			
	2月	○問題演習 大学入試過去問題演習			
	3月				